

# くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」



西合志第一小学校  
学校だより 第45号  
文責 校長 西村羊治  
裏面あり  
令和6年10月23日

## 表現する力

後期始業式で立派に発表する3年生の女の子

前期終業式、後期始業式において、すべての学年の代表児童が全校児童を前にして発表しました。もちろん私も子ども達に向けて頑張ったことや頑張りたいことの話をしました。人前で話したり発表したりすることは、子どもはもちろん、大人も緊張するものです。ですから経験がものを言います。車の運転をルールを守って毎日するなら、ドライバーとしての腕は上がります。しかし、運転免許は取っても、運転をしないならペーパードライバーになってしまいます。人前で話したり発表したりすることもそうです。子ども達は、学習によって知識をInputします。それをさらに自分のものにするためには、Outputすることが大切です。今でもそうですが、私は子どもの頃から恥ずかしがり屋で、人前で発表したり話したりすることは苦手でした。しかし、職業柄人前で話さなければなりません。学級担任を20年近くやってきたのですから、教師として学級の児童生徒前で話すことは、「できません」とは言っておられません。また、校長という立場上、あいさつなど人前で話をするのがさらに多くなってきました。何が言いたいかというと、子ども達に今のうちにどんな大人になりたいかを考え、人前で話せない大人か、人前で話せる大人か等を思い、「発表せなんからする」ではなく、「人前で話せる大人になりたいから発表する」という将来の自分を見据え、今を生きて欲しいと思います。



人に優しくすることや差別しないこともそうです。叱られるからしないのではなく、差別をしない思いやりのある大人になりたいから、今それを実行していくのです。日頃の学校生活の集団の中でしか身に付けられない大切なことです。一日一日を大切に「成長」を継続してください。

グラウンドに描かれた第一小の文字や校章

## 協力することのありがたさ

西合志第一小学校の百五十周年を迎えるに当たって、本校グラウンドに記念の人文字を描き、22日の朝、上空からドローンで撮影しました。本校職員が、プロのごとく「祝」「第」等の文字を見事に描きあげました。右の写真は、真上からドローンで撮影したものです。すばらしい人文字が完成しました。子ども達はもちろん、当日協力してくださった実行委員や保護者、地域の皆様、ありがとうございました。

また、21日(月)には、朝の9時から橋口石材さん、高村秀夫実行委員長、長野博巳副実行委員長が来てくださり、150周年記念碑の設置をしていただきました。右の写真は11月1日が除幕式の日ですので、文字の所



除幕式前の百五十周年記念碑を囲む高村様、長野様、米澤教頭

を隠してあります。除幕式が楽しみです。

さらに、同日の熊本日日新聞朝刊には10月13日(日)に行った50年前のタイムカプセル開封式の記事が掲載されました。50年前の在校生が41名も来てくださり、式も盛り上がり、笑顔いっぱいの体育館になりました。タイムカプセルに入っていた自身の書道の作品や作文を見られる当時の在校生(小学校4年生だった人は還暦です)の表情は活き活きとされていました。天候にも恵まれ百周年記念碑前での開封式、体育館でのカプセルの中身の取り出しと鑑賞、50年前の思い出話などすべてが、いい雰囲気が進みました。現校長としてこの様なすばらしい式典に立ち会えたことの奇跡に感謝しております。

## 修学旅行に向けて

今週の24・25日に6年生は、中央小学校の同級生と一緒に長崎へ修学旅行に行きます。1945年の広島・長崎への原爆投下、戦争の悲惨さや残酷さ等、平和や命の尊さについて、中央小も第一小も6年生が総合的な学習の時間を活用して学習を進めてきました。当日は真剣な態度で、立派に平和学習をさらに深めてくれることと思います。

長崎の平和公園で実施する予定の平和集会の合同での練習を、21日の4時間目に中央小学校の運動場で行いました。総勢約150人で「平和宣言」を行い「折り鶴」の歌を歌いました。まだ言葉や歌詞を覚えていない人もいましたが、当日までには各自が練習をし、本番は戦争で亡くなられた国内外のすべての方々に気持ちが届くよう真剣に取り組んでくれることと思います。学校の教室ではできない現地での体験学習を、安全にやり遂げてくれることを期待しております。

## 1年生ハッスル!

10月21日(月)2校時、1年生で研究授業を行いました。国語の「いろいろなふね」という説明文です。内容は、漁船の「役目」「つくり」「できること」を文章の中から要約してまとめるという学習でした。まず、担任の栄先生が電子黒板に映し出された漁船を見て、「前時のフェリーボートとの違いは何?」と問いました。すると多くの児童が挙手して授業に入っていました。栄先生のやる気と子ども達を授業に引き込みたい、という気持ちが見ている私に伝わってきました。子ども達のやる気を引き出すのは、教えるプロとしてのとても大事な技です。

1年生のみなさん、栄先生お疲れ様でした。

## 50年前の「思い出」開封

合志市・西合志第一小 卒業生集結

今年開校150周年を迎えた合志市の西合志第一小で13日、50年前の在校生が埋めたタイムカプセルを開封した。熊本県内外から41人の卒業生が集まり、思い出話を花を咲かせた。

1974年10月13日に開校100年記念式典があり、当時の全校生徒131人が記念碑に品物を埋めて50年後に開けると決めた。

タイムカプセルは体育館で開封し、作文や習字の書、教科書、当時の新聞などが次々に出てきた。卒業生らは「懐かしい」や「字が上手だね」などと言って、当時を懐かしんだ。

50年前に6年生で児童会長だった衛藤瑞恵さん(62)＝同市＝は「タイムカプセルを埋めたことを50年ずっと覚えておかないといけなかったのが、ようやく肩の荷が下りました」とほっとした様子だった。(豊田宏美)



10月21日(月)の朝刊



中央小の6年生と一緒に



手を挙げる1年生